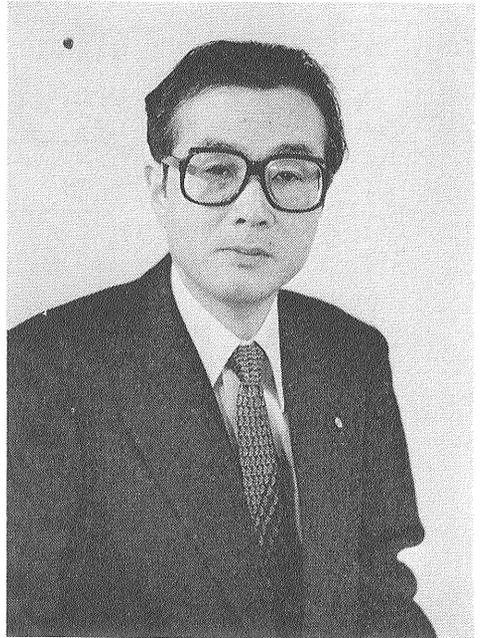


# 年 頭 所 感

明 け ま し て

お め で と う ご ざ い ま す

地 質 調 査 所 長 磯 見 博



磯 見 博 所 長

昨年 12月に 佐藤茂前所長の後をうけて 地質調査所長を命ぜられました。新年に当り読者の皆様には日頃の地質調査所の研究業務に対する御協力・御理解について深く感謝申し上げます。

地質調査所は設立 (1882) 以来 約100年 地質及び地下資源に関する調査研究を総合的に実施する国立研究機関として わが国の社会経済の発展 国民福祉の向上及び国際協調に寄与してまいりました。とくに わが国及び周辺海域の地球科学的実態を把握するための総合的な調査研究では 他の追随を許さない成果を挙げているものと自負しております。しかしながら 昨今の資源有限化時代においては わが国の経済安全保障確立のための科学技術に対する社会的要請の一環として 地質調査所の使命が一段と大きくなりつつあることを感じます。とくに 資源エネルギー制約の打開と 国土の均衡ある利用に関する分野での研究目標の達成は 国家的な急務となっております。

このような情勢の中で 当所としては 昭和56年度には次のような具体的テーマを積極的に推進していきたいと考えております。

1. 資源エネルギーの制約の打開 地熱資源に関する調査研究—新エネルギー資源の一つとして 新しい技術的・理論的観点から わが国の地熱エネルギーの潜在能力を把握するための探査システムの開発とその検証 (工業技術院指定研究) 深海底鉱物資源に関する研究 (工業技術院特別研究) 未開発陶磁器原料資源に関する研究 (工業技術院特別研究) 海外技術協力を通じての資源探査・国際協力 (国際産業技術研究)

2. 国土の均衡ある利用と保全 地震予知・火山噴火予知に関する研究 (工業技術院特別研究) 沿岸水域の環境保全に関する研究 (産業公害特別研究) 地場産業育成のためのセッキ粘土鉱床の研究 (所内特別研究)

3. 共通基盤的な研究 1及び2の目的基礎研究を推進するための共通基盤的な研究や 地球科学における先導的 創造性豊かな基礎研究も重視していきたいと考えています。国の基本図としての5万分の1地質図幅 (所内指定研究) 及び各種編さん図の整備 わが国周辺海域の地質図及び空中磁気図の整備 (工業技術院特別研究) 地質標準試料としての岩石標準物質の作製 (所内特別研究) 創造性豊かな かつ先導的な地球科学の研究 (経常研究) 地質標本及び資料の整備

以上の研究業務を 国内外の関連研究機関と協力の下に推進していきたいと考えております。地質調査所に要請される研究業務の内容は 複雑になるとともに その量も増大の一途をたどっております。当所としては 国家・社会の期待に応えうように最善を尽す所存であります。